

砂嵐（サンド・ストーム）

カタールでは、主に2月頃から7月頃にかけて砂嵐が発生します。当地の砂塵は極めて小さく、窓やドアの隙間から室内に入り込みます。この微細な砂塵を吸い込むことにより、毎年多くの方が呼吸器系の異常を訴えて、病院で治療を受けています。

平成27年4月1日夜から2日にかけて強烈な砂嵐が発生し、多くの救急要請や飛行機の遅延、交通事故が発生。最高教育評議会（SEC）は、砂嵐に伴い4月2日は全ての学校の閉鎖を命じました。

ドーハ市内ハマド病院には1300人もの患者が4月1日夜から2日午後にかけて救急治療を受けました。

砂嵐の際の注意事項と致しましては、

- ・可能な限り屋内に留まり、不要な外出の回避。こまめに水分補給をする
- ・屋内、または自動車運転中は、窓を閉めてエアコンをつける
- ・外出の際は、マスク等を湿らせ、体内に入り込む砂を可能な限り排除。帰宅時にはこまめにうがいをする
- ・視界不良に伴い、運転する場合には減速の上、細心の注意を払う

また砂嵐は、交通上のトラブルも引き起こしております。平成24年7月に発生した砂嵐では、視界の悪化等により多重玉突き事故が発生し、3人が死亡、25人が負傷しています。猛烈な砂吹雪が発生すると、視界は極めて悪くなり、昼間でもヘッドライトを点灯して自動車を運転する必要があります。



砂嵐では視界が極めて悪化します。

2月から7月にかけて発生する

砂嵐・砂塵等の状況



玄関前に砂塵が吹きだまった状況（ドーハ市内）



左写真の玄関の通常の状態



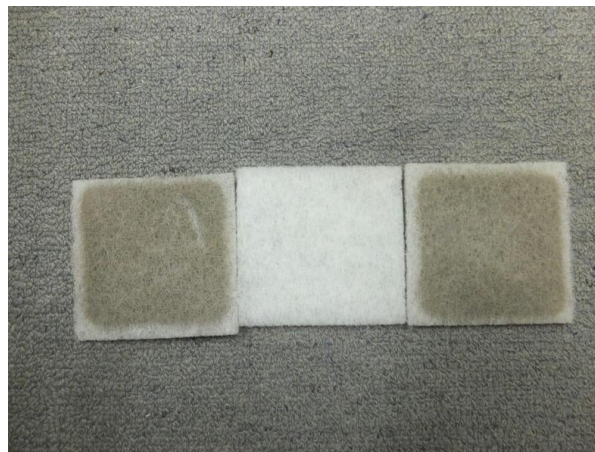
日中は目視できない砂塵も、夜間、フラッシュ撮影すると上記写真のように写る。



強風時には、砂嵐となり、日中でも太陽が月のように見える。また右写真は、砂嵐により国旗が引きちぎられた状況。



有風時には砂が舞い、視界が悪化する。上記写真は同じ場所から撮影したもの。



OA 機器のフィルター。新品と1年後のもの。



強風時には、視界が極端に悪化する場合がある。